



うつむくなよ、ふり向くなよ、君は美しい、戦いに敗れても…、君は美しい…。 高校サッカー観戦記

準決勝は宮城スタジアム！ 城南 vs 聖和を観戦！



勝負は負けた時の始まる。弱さも知った時、己の成長が始まる。



7番キャプテン・関将



5番攻守の要



10番エースストライカー

高校サッカーの花形、冬の選手権。宮城県大会準決勝は、宮城スタジアムで行われました。この日はジュニアユースの選手を連れて観に行くことができました。アバンの活動の都合上、県工の試合は観れなかったのですが、県工は夏の総体の覇者、仙台育英高校に勝利し、決勝に進出していました。アバンOBの直毅くんは好セーブを連発していたそうです。

もう一つの準決勝。城南高校には、アバンOBの5名がメンバー入り。ジュニアユースOBの3名はスタメンです。7番キャプテンの阿部康佑くん、5番攻守の要の藤河拓弥くん、10番ストライカーの阿部悠佑くん、16番ルーキー今野充栄くんも1年生で唯一交代出場しました。

結果は0-1の惜敗、彼らは高校サッカーに列れを告げました。後日、アバンの練習に顔を出してくれた彼らに話を聞きましたが、「相手の実力が上でした」と潔かったです。悔しいだろうけど、本気で高校サッカーにかけていたからこそ、相手の力を感服することができたのでしょう。

翌日の県工対聖和の決勝戦は、アバンの練習の合間にテレビで観戦しました。結果は対1の聖和の勝利。大量失点だけに、GKの西崎君をたくさん観ることができました(笑) 熊鷹督とも話したのですが、県工のGKユニフォームはアバンとそっくり。彼は小学、中学、高校と、同じカラーのユニフォームをまとい戦ったことに！なかなか面白い偶然です。

他にも県工には2年生のアバンOBがもう1人。聖和にも3年生のOBが2名。2年生に1名。ただ、層の厚い強豪校だけに、メンバー入りすることはできませんでした。2年生の2名には来年ぜひとも頑張ってもらいたいです。ちなみに聖和の10番は、アバンジュニアの4年生、小野高くんのお兄ちゃんです。全国大会でもぜひ頑張ってもらいたいです！

また、ここには書ききれませんが、県大会のパンフレットには、アバンのOBがたくさん載っていました。コーチは2回しが観戦できませんでしたが、たくさんOBとその保護者との再会がありました。「これからも楽しみが尽きませんね」と声をかけられました。遠かにそうですね。今後、日本のサッカー界にアバンOBが躍進することを願っています。

ある日の夜中、一本の電話。眠かけのコーチの耳に「別に用はないんですけど…」とアバンOBの声が。

電話の声は、宮城県高校サッカー選手権決勝戦、県立工業高校のゴールマウスを守った西崎直毅くんのものでした(その時は県大会初戦の直前でして)彼の近況やアバンの最近の出来事、ジュニアユースの最近の試合の事などひとしきり話した後、彼の言葉に「コーチもさすがにウルツとききました。『これ、冗談じゃないです、ずっと前から思っていたことなんですけど。将来、子供ができたらアバンでサッカーをやらせようと思っています。そしてコーチにみてもらいたいです。』正直、この言葉で残りの一生頑張れそうな気がしましたね。

後日、熊鷹督のはからいもあり、練習の合間に試合を見に行くことができました。対戦表を確認し、2回戦を見ることに。県工対一高との対戦だと予想(一高には4名のアバンOBがいるので楽しみに…)ただ、行ってみると一高は惜しくも1回戦で負けていました。残念。県工は6-0で2回戦を勝利、直毅くんの勇姿を観ることができました。

アバンがわらばん 第5回 ジュニアユース

2014年12月号

「ジュニアユースがわらばん」前書き

「ジュニアユースがわらばん」も数えること5回目になります。ホームページでも閲覧できるようになり、現会員に限らず、たくさんOB選手やその保護者様から「見えています」との声を頂きます。誠み応えのあるよう、文章は多め。子ども達の成長のヒントになるような、大人も楽しめるような、充実した内容のクラブ会報誌を目指します。今後ともよろしくお願ひします。

11月はOBがたくさん来てくれました。



上の写真。紅白戦をしたかったのですが、色々あって人数が集まらないと分かり、前日の夜、急きょOBの高校1年生に声をかけたら、7名ものOBが集まってくれました。もちろん、日曜日は当然この高校も試合や練習。忙しい合間をぬって、よく来てくれました。右下の熊谷くん(ペガルテユース)にいたっては、ナイターで試合があるというのにつけてくれました。午前中はアバンの親子サッカーにも参加。大丈夫なの？さすがに鍛えられています。タフです。

左上の写真は、仙台一高2年生の土城くん、そして県工の2年生、西崎くん。現ジュニアユースのコメント(裏の記事)にもありますが、この日、彼らは本当に楽しそうでした。土城くんは、自分も認めているように、ジュニアの選手コース時代、技術的には11番目、12番目の選手だったかも。それが高校生になった今はキャプテンで攻守の要。西崎くんは、ジュニアからGK。185cmの長身にも関わらず、足下の技術が必要以上に上手い(笑) これもアバンで技術トレーニングを重ねたから(というが、それしかしてはいない)です。彼らの後輩へのメッセージは「とにかく今は技術」「高校になったらバカみたいに走るし、筋力もつく」「アバンを信じて、技術と人間性を磨け」明日を信じて目の前の事に一生懸命取り組もう。思えば彼らのジュニアユースの年代は5名しかいませんでした。



アバンOB来訪の続き…。

ジュニアユースの取り組み「毎日の報告メール」その日の目標を達成したかどうかの報告、明日の目標とコメントを記載し一日の終わりに送信するものです。コーチはそのコメントを楽しみにしています。OBが参加してくれた日の、ある選手の報告メールです。素直な感想です。卒業を控えた彼には、高校生の姿は良い刺激になったことでしょう。

<報告メールのコメント>

今日は、アバンの練習にいま高3のOBの二人が来てくれて、一緒にサッカーをしてくださいました。OBの人はプレーも、プレー中にしゃべっている内容も大人らしくてカッコよかったです。それに、とても楽しそうにサッカーをしていました。自分も、今日来てくれたOBの二人のように、もっと声をしっかり出してその内容も質を高くして、今以上にサッカーを楽しんでいけるように頑張ります。

別の日にまたOBの来訪者。左はジュニアユース一期生、東北学院大学1年生の齋藤将哉くん。右は城南高校3年生の阿部悠佑くん。「近々OB戦をやるから来てほしい」と言ったものの、「ぜひ挨拶させて下さい」とやってきました。そして、齋藤くんは、その日さりと以下のようなメールを送ってくれました。彼の人間性を感じます。

<メール>

今日は練習に参加させていただいてありがとうございました。

今のジュニアユースの子達の技術の高さに驚きました。でも昔から変わらずアバンはアバンのままだなと思いました。素直にサッカーに取り組み、楽しむという感覚を最近忘れかけていたと思います。そういった意味でとても良い刺激になりました。でも今日の自分は中学生を相手に少しかっこつけてた面があったと思うので申し訳ないです。3年しかいなかったけど自分にとっての原点はアバンツアーレ以外考えられません。なのでこれからも時間が合えば練習に混ぜてもらえたら嬉しいです。その際はよろしくお願ひします。そしてOB戦でみんなでサッカーできるのを楽しみにしています。今日はありがとうございました。

齋藤 将哉



更につながるお話し…。

西崎直毅くんから電話があった前日。省の手紙や写真などを整理していたら、直毅くんのお母様からのお手紙が…。今、この時に読み返すと、余計に感慨深いものがありました。この手紙を見つけたのも、用もなく？本人から電話があったのも、何とも不思議な出来事です。実は準決勝を観戦した時、お母様の姿を見かけたのですが、声をかけそこねてしまいました。後日その事をお話し、許可をもらったので、その優しいお手紙を紹介します。

<お手紙>

小学2年より、今日中学3年までの7年間、大変お世話になりました。時が経つのは本当に早いものです。春に赤丸くんに誘われてアバンツアーレに入会したのが、つい昨日の事のように。サッカーを始めて初めての誕生日にアバンのエナメルのカップを買ってあげ、嬉しそうにピースサインをしている写真は、今でも我が家のアルバムの大変な一枚です。番付チームに上がる為、課されたリフティング100回はなかなか出来ず、毎日毎日暗くなるまで練習していました。100回の壁を越え、30回の壁を越え、初めて100回を越えた時のとびきりの笑顔は今でも忘れられません。遠征の朝、送迎の車の中では、呑成くんと練習のメニューよりも、夕食のメニューを本気で心配していた事…(笑) ※注

源晴コーチの誕生日に開催された試合の決勝戦では、自分が最後まで守りきる事が出来ず、「コーチに『優勝』というプレゼントが出来なかった…」と帰りの車で肩を落としていた事…。このアバンツアーレで学んだ事、そして源晴コーチに出会った事…。直毅がこれから歩いていく人生において、きっと大切な糧になる事と確信しております。春には笑顔でコーチに挨拶出来る事をイメージし、あと1ヶ月、精一杯頑張る事でしょう…。高校では新たなサッカーが始まり、壁にもぶち当たる事でしょう…。でも、アバンで培ったさまざまな経験を武器に、きっと乗り越えてくれると思います。

今後も…、どうぞ御指導よろしくお願ひ致します。アバンツアーレの全ての方々に…、心より感謝しております。

本当にありがとうございました。

西崎 智子

※注 「夕食のメニューを心配していた」とは、「楽しみで心配していた」のではなく…、「アバンの合宿ではいっぱい食べなければいけない」ので、「恐怖で心配していた」という意味だろうと推測できます…。

AVANZARE Sports

「アバンツアーレスポーツ」

「アバンツアーレスポーツ」：放課後等デイサービスとは、小学生～高校生までの発達に心配のある子供や障害を持つ子供を、学校の放課後や長期休暇中にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行うものです。15年間のアバンツアーレで培ってきたスポーツ指導を活かし、地域社会に貢献していく心づもりです。



親子サッカーのお手伝い!

この日は「アバンスポーツの収穫イベント」でした。試食コーナーと親子サッカー教室のお手伝い。彼らのサッカー教室のサポートはもう慣れたもので、楽しみながら活動できたと思います。



アバンスポーツで作った焼き芋、豚汁を試食!

ジュニアユースの選手にとって、アバンスポーツの子供達との交流は、とても良い経験になっています。選手のサッカーノートの中には、思うようにコミュニケーションをとれなかったことを悔やむ言葉もありました。そう感じ取れただけでも素晴らしいと思います。

HPは「アバンツアーレ」で検索できます。

ジュニアユース選手・テクニカル会員参加型企画!

1対1アバン選手権を途中報告!

「1対1」の強化のため始まったこの企画。試行錯誤した末、ルールも決まり、データも出てきました。ルールは1分間の時間制限がある1対1。勝率で年間のランキングを決めます。チャンピオンには豪華プレゼント贈呈決定!

★現在1位：鶴岡響(中3)勝率：71.4%



Jrユースがわらばんのお知らせ

★ジュニアユースの事に限らず、サッカーに関する疑問や悩みを遠慮なくご相談下さい。ジュニアの子であっても、今から将来を見据えた取り組みをはじめのべきです。何か助言できる事もあるかと思います。また、がわらばんに取り上げて欲しいことも、ドシドシ提案して下さい! 待ってます!

★ジュニアユース第2回説明会が行われます。

第1回説明会はおかげ様でたくさんの方の選手・保護者にお集まりいただきました。第2回は練習会も同時開催致します。

●日程：12月21日(日)

説明会：16:00～17:30頃 練習会：18:00～20:00

●アバン室内練習場の指導室で説明会。その後、練習会を行います。

●申込、詳しいお問い合わせは、大兼久まで

